



主な掲載内容

< 2・3面 > 地震!その時10のポイント もしもに備えていまからできる地震対策 防災館
< 4面 > 救急車の適正利用を! 東京消防庁救急相談センター 東京版救急受診ガイド 金曜コンサートのお知らせ
ミニコラム プレゼントコーナー

地域の安全「もしも」の時に備えていますか?

災害時に、近隣住民で力を合わせて消火活動や救助活動を行えるように、日頃から防火防災訓練等で備えましょう。



ご存知ですか?

まちかど防災訓練



自分たちの街は自分たちで守る!



東京都は木造住宅密集地域が多く、大震災などで火災が発生した場合、大規模に拡大する恐れがあります。地域の力で火災の被害を抑える、「まちかど防災訓練」の実施を勧めています。「まちかど防災訓練」とは、住民が住む街区において、スタンドパイプや可搬消防ポンプを使った近隣住民による防火防災訓練です。実際の設置場所、使い方をすることで、地域の防災力を大きく高めることができ、いざという時の被害軽減にもつながります。



可搬消防ポンプを活用した訓練

まちかど防災訓練の効果



- ・ 隣近所で助け合う協力体制ができる
- ・ 自分たちで地域を守る意識ができる
- ・ 消火用資器材を使って被害が広がる前に消火する対応力が上がる

いざという時、大活躍!

2つの消火用資器材



スタンドパイプとD級可搬消防ポンプは、住民が活用できる消火用資器材です。それぞれの特徴を理解し、効果的に使いましょう。

消火栓を活用した スタンドパイプ	防火水槽・池等から吸い上げる D級可搬消防ポンプ
 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎分100ℓ以上の放水ができる ・ 消火栓に差して使用する ・ 軽くて使いやすい ・ 動力がないのでメンテナンス不要 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎分130ℓ以上の放水ができる ・ 簡単操作 ・ 少人数でも使える ・ 断水時でも水源を利用して使える

住民による初期消火事例

スタンドパイプで初期消火!

4月21日、葛飾区で発生した火災で、地域住民が「スタンドパイプ」を使って初期消火にあたり延焼を防いだ事例がありました。この地域では、昨年の11月にスタンドパイプを配備し、訓練を行っていました。スタンドパイプを活用して被害拡大を防いだ事例は都内でも初めてで、東京消防庁では町会に消防総監感謝状を贈りました。



防災週間 8/30(日)~9/5(土)

今回のポスターには、防災アイドル「さんみゅ〜」のみなさんにご登場いただきました。「今回、防災週間のポスターモデルをさせていただきました。大地震が発生した時などに、きちんと行動できるよう、みなさんも私たちと一緒に防火防災訓練に参加しましょう!」



平成27年度防災週間ポスター

私たちも参加します!

ラジオで安心 みんなの防災2015

入場無料で、どなたでも様々な防火防災体験ができます。みなさんお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

- 〈日時〉 9月5日(土) 午前11時から午後5時まで
 - 〈場所〉 恵比寿ガーデンプレイス(渋谷区恵比寿4-20)
 - 〈内容〉 初期消火体験、煙体験、起震車体験など
- 主催:ニッポン放送 後援:協力:東京消防庁ほか